

J R北海道グループ 経営改善に関する取り組み

【2022年度第4四半期 報告書】

2023年6月9日

北海道旅客鉄道株式会社

目次

本報告書は'18年7月に国土交通大臣より受領した監督命令に基づき、四半期毎における国土交通省との検証結果を報告するものです。

1. '22年度KGIの検証結果（総括）
2. '22年度第4四半期における実績等

〈収入関連項目〉

- ① 鉄道運輸収入
- ② 観光流動の活性化
- ③ withコロナ・収入挽回
- ④ 開発・関連事業
- ⑤ 事業ポートフォリオの革新の
着実な推進

〈費用関連項目〉

- ⑥ コスト削減（資材調達等）
- ⑦ 鉄道オペレーションの革新

〈その他項目〉

- ⑧ 鉄道輸送の品質向上
- ⑨ 資金の確保

1. '22年度KGIの検証結果（総括）

(1) '22年度の検証結果（総括）

- 「鉄道運輸収入」については、「定期収入」「定期外収入」とも一部を除き各四半期のKPI目標を下回る結果となり、KGIを達成することができませんでした。また「北海道新幹線のご利用人員」について、下期はKPI目標を上回ったものの、KGIには届きませんでした。
- 「開発・関連事業」について、小売業でわずかにKGIを下回ったものの、不動産、ホテル業は好調に推移しKGIを大きく上回りました。
- 「事業ポートフォリオの変革の着実な推進」については一部未達のKPI目標があったものの、KGIを達成しました。「コスト削減」、「鉄道輸送の品質向上」、「資金の確保」では、全てのKGIを達成しました。
- 「鉄道オペレーションの変革」では、一部の施策を次年度に実施することとしたため、KGIを達成できませんでした。

1. '22年度KGIの検証結果（総括）

(1) '22年度の検証結果（総括表1/4）

'22年度KGI 全14項目中 ○：10項目、×：4項目

'22年度第4四半期KPI 全23項目中 ○：19項目、×：4項目

KGI・KPI設定項目	'22年度KGI	実績及び検証結果		'22年度KPI				
				設定項目		実績及び検証結果		
①鉄道運輸収入	鉄道運輸収入 589億円	585億円	×	定期収入	1 Q	30億円	×	29億円
					2 Q	29億円	×	28.9億円
					3 Q	29億円	×	28.8億円
					4 Q	28億円	×	26億円
				定期外収入	1 Q	84億円	○	97億円
					2 Q	123億円	×	122億円
					3 Q	131億円	×	122億円
					4 Q	135億円	×	131億円
	北海道新幹線 ご利用人員 3,300人/日	3,100人/日	×	北海道新幹線 ご利用人員	1 Q	2,900人/日	×	2,500人/日
					2 Q	4,000人/日	×	3,600人/日
					3 Q	3,400人/日	○	3,500人/日
					4 Q	3,000人/日	○	3,000人/日
②観光流動の活性化	沿線地域との連携 道内の観光活性化	○	観光列車の運行	1 Q	「花たび そうや」 ご利用人員70人/日 収益確保（宗谷線活性化）、沿線地域との連携	○	「花たび そうや」：利用人員 78人/日 沿線地域との連携を実施	
				2 Q	「富良野・美瑛ノロッコ号」 ご利用人員400人/日 収益確保、 地域連携（富良野・美瑛キャンペーン）	○	利用人員 425人/日 沿線地域と連携した取り組みを実施	
					「THE ROYAL EXPRESS」 8回運行 地域連携	○	8回運行 沿線地域と連携した取り組みを実施	
				3 Q	「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」 ご利用人員180人/本 収益確保、地域連携	×	利用人員 172人/本 沿線地域と連携した取り組みを実施	
				4 Q	「S L冬の湿原号」 ご利用人員400人/日 収益確保、地域連携	○	利用人員 455人/日 沿線地域と連携した取り組みを実施	

1. '22年度KGIの検証結果（総括）

(1)'22年度の検証結果（総括表2/4）

KGI・KPI設定項目	'22年度KGI	実績及び検証結果		'22年度KPI				
				設定項目		実績及び検証結果		
③withコロナ・ 収入挽回	・withコロナの時代に あった新しい鉄道利 用スタイルの提案 ・国や道の支援を活用 した 利用促進・収入 挽回	○	国や道の観光需要喚起 策と連動した取り組 み、新しい鉄道利用ス タイル提案	1Q	HOKKAIDO LOVE! 6日間周遊パスの販売	○	実施済み	
					(株)モンベルとの連携企画の実施	○	実施済み	
					航空会社との連携企画の実施	○	実施済み	
					商品説明会の実施	○	実施済み	
				2Q	HOKKAIDO LOVE! 6日間周遊パスの完売 (2Qまでに54,000枚程度)	○	完売(約56,000枚)	
					261系5000代の1号車フリースペースを 活用したテレワークに関する実証実験の実施	○	実施済み	
					教育旅行セミナーの実施	○	実施済み	
3Q	「炭鉄港」(幌内鉄道全通140周年)と連携した取り組 みの実施	○	実施済み					
4Q	冬の富良野・美瑛キャンペーンによる 分散型旅行の促進	○	実施済み					
④開発・関連事業	小売業売上高 228億円	227億円	×	ジエイ・アール 生鮮市場 売上	1Q	44億円	×	41億円
					2Q	43億円	×	42億円
					3Q	49億円	×	46億円
					4Q	45億円	×	39億円
	不動産業売上高 197億円	210億円	○	JRタワー テナント売上	1Q	166億円	○	183億円
					2Q	175億円	○	194億円
					3Q	175億円	○	210億円
					4Q	160億円	○	195億円
	ホテル業売上高 49億円	74億円	○	JRタワーホテル 日航札幌売上	1Q	5億円	○	7.1億円
					2Q	7億円	○	9.3億円
					3Q	6億円	○	8.6億円
					4Q	5億円	○	8.2億円

1. '22年度KGIの検証結果（総括）

(1) '22年度の検証結果（総括表3/4）

KGI・KPI設定項目	'22年度KGI	実績及び検証結果		'22年度KPI				
				設定項目		実績及び検証結果		
⑤事業ポートフォリオ の変革の着実な推進	事業ポートフォリオ を中期的に変革して いくための事業開発 の推進	○		札幌駅周辺再開発 (北5西1・西2地区 市街地再開発事業) スケジュール	1 Q	都市計画手続きの着手	○	実施済み
				2 Q	資金調達スキームの確立	○	実施済み	
				3 Q	都市計画決定	○	実施済み	
				4 Q	再開発事業認可受理	○	実施済み	
				ホテルさっぽろ弥生等 (北3・西12地区) 再開発スケジュール	1 Q	開発案の絞り込み	○	実施済み
				2 Q	事業実施協定締結	○	実施済み	
				3 Q	既存施設の撤去完了	×	撤去工事を継続	
				4 Q	実施設計着手	○	実施済み	
				桑園社宅用地の 開発検討 スケジュール	1 Q	社宅撤去工事着手	○	実施済み
				2 Q	社宅撤去工事完了	○	実施済み	
				3 Q	実施設計完了	○	実施済み	
				4 Q	新築工事着手	○	実施済み	
				賃貸マンション (極楽湯さっぽろ 手稲店跡地) 再開発スケジュール	1 Q	賃貸マンション新築工事着手	○	実施済み
				2 Q		-		
				3 Q	賃貸マンション入居者募集開始	○	実施済み	
				4 Q	賃貸マンション入居開始	○	実施済み	
				オープンイノベーション の手法を活用した事 業開発 スケジュール	1 Q	募集内容の準備	○	実施済み
				2 Q	プラットフォーム事業者との整理	○	実施済み	
				3 Q	協業事業者の募集開始	○	実施済み	
				4 Q	事業内容の決定	○	実施済み	
⑥コスト削減	J R北海道 コスト削減額 (対中期計画前) 17億円	21億円	○	コスト削減額 追加額 2 億円	1 Q	0.4億円	○	1.0億円
					2 Q	0.6億円	○	0.8億円
					3 Q	0.2億円	○	0.8億円
					4 Q	0.8億円	○	1.3億円
	J R北海道グループ コスト削減額 (対中期計画前) 6.1億円	6.3億円	○	コスト削減額 追加額0.4億円	1 Q	0.1億円	○	0.1億円
					2 Q	0.1億円	○	0.3億円
					3 Q	0.1億円	○	0.1億円
					4 Q	0.1億円	○	0.1億円

1. '22年度KGIの検証結果（総括）

(1) '22年度の検証結果（総括表4/4）

KGI・KPI設定項目	'22年度KGI	実績及び検証結果		'22年度KPI				
				設定項目		実績及び検証結果		
⑦鉄道オペレーションの革新	要員効果160人規模	140人規模	×	1 Q	(設定なし)	-		
				2 Q	H100形気動車の導入（8両）	○	8両導入	
					新幹線交番検査周期の延伸	○	実施済み	
				3 Q	H100形気動車の観光列車化改造（4両）	○	実施済み	
					2両ワンマン電車の導入（4両）	○	実施済み	
				4 Q	2両ワンマン電車の導入（10両）	○	実施済み	
「話せる券売機」の導入（12台）	○	実施済み						
電気設備状態監視システムの導入拡大	○	実施済み						
2022年度の取り組みを踏まえた組織・業務の見直しの実施（160名規模）	×	一部効率化の実施時期を次年度に繰り延べた						
⑧鉄道輸送の品質向上	鉄道輸送の品質向上（今年度は雪害対策、快速エアポートの品質向上、異常時運行情報の品質向上を目標として取り組む）	○		1 Q	雪害対策設備の設置・増強計画策定	○	実施済み	
					自社内における除雪体制の検討	○	実施済み	
				2 Q	快速エアポートへの「えきねっとチケットレス座席指定券」導入	○	実施済み	
					南小樽駅バリアフリー化完了	○	9/17供用開始	
				3 Q	外部応援による除雪体制の検討	○	実施済み	
					検討した対策の実施、設備の運用開始（除雪体制構築、除雪機械・融雪設備増強等）	○	実施済み	
					外国人旅客への異常時案内の充実のためのiPadの「多言語放送案内アプリ」リプレイスの実施	○	実施済み	
				4 Q	効果測定可能なお客様アンケートの実施	○	実施済み	
HPリニューアル・試験運用開始	○	実施済み						
⑨資金の確保	新幹線高速化などの資金確保	○		(各期ごとのKPI設定なし)				
	期末残高100億円の確保	299億円	○	期末残高	1 Q	100億円以上	○	282億円
					2 Q	100億円以上	○	301億円
					3 Q	100億円以上	○	304億円
					4 Q	100億円以上	○	299億円

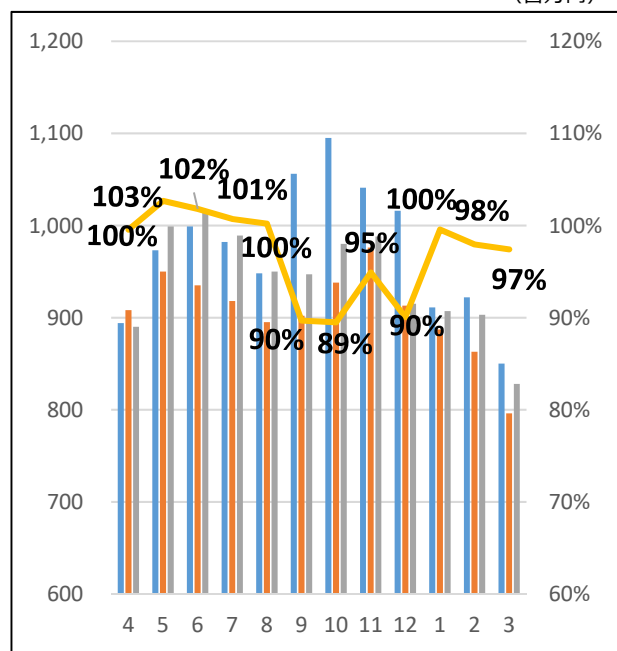
2. '22年度第4四半期における実績等

(2) '22年度年間実績／第4四半期における実績等

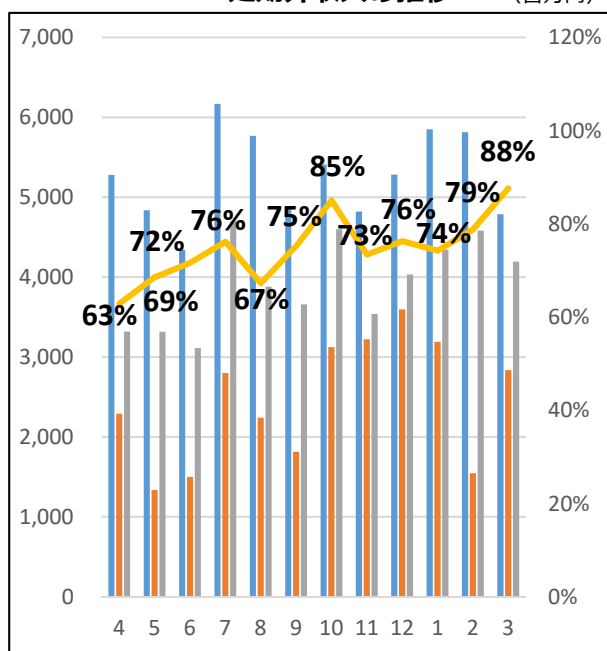
① 鉄道運輸収入

K P I (4 Q)				K G I (2022)			
設定項目		実績	達成状況	設定項目		実績	達成状況
定期収入	28億円	26億円 (対K P I 93%)	×	鉄道運輸収入	589億円	585億円	×
定期外収入	135億円	131億円 (対K P I 97%)	×	北海道新幹線 ご利用人員	3,300人/ 日	3,100人/日	×
北海道新幹線 ご利用人員	3,000人/ 日	3,000人/日 (対K P I 100%)	○				

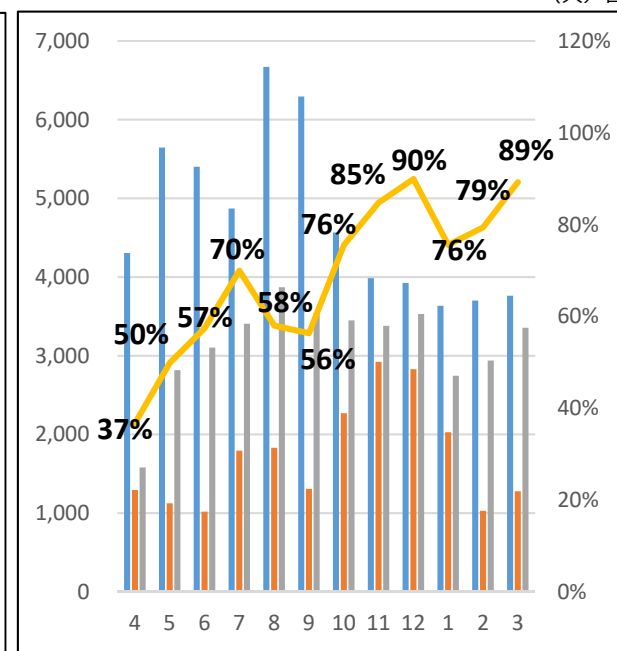
定期収入の推移 (百万円)



定期外収入の推移 (百万円)



北海道新幹線ご利用人員の推移 (人/日)



2019年(1~12月)

2021年度(4~3月)

2022年度(4~3月)

2022年度と2019年の比較

※2019年1～9月の定期収入・定期外収入は、運賃改定前の数値です。

2. '22年度第4四半期における実績等

(2) '22年度年間実績／第4四半期における実績等

① 鉄道運輸収入

4Q
検証結果

- 定期収入はKPI目標に届きませんでした。
- 定期外収入については、年度末に平常時の9割まで回復する計画とし、「特急とちかち」や「特急北斗」において「お先にトクだ値」を設定するなど収入挽回に取り組みましたが、わずかにKPI目標に届きませんでした。
- 「北海道新幹線」について、「新幹線お先にトクだ値スペシャル」の設定やツガルカイセン、謎解きイベント等の利用促進施策を行ったことなどもあり、KPI目標を達成しました。

KGI
検証結果

- 定期収入については、コロナ禍による新たな行動スタイルの定着などの影響があり、年間を通じてKPI目標を下回り、年度のKGIも未達となりました。
- 定期外収入は「HOKKAIDO LOVE！6日間周遊パス」の完売、「お先にトクだ値」の設定やなど収入の挽回に取り組みましたが、コロナ第7波(7月)、コロナ第8波(11月)などの影響が大きく、1Qを除きKPI目標を下回る結果となり、年度のKGIに届きませんでした。
- 北海道新幹線については、下期に全国旅行支援やインバウンドの回復によりKPI目標を達成しましたが、上期においてKPIを下回った影響が大きく、KGI目標を達成することはできませんでした。

② 観光流動の活性化

KPI (4Q)		
設定項目	実績	達成状況
「SL冬の湿原号」 ご利用人員 400人/日	「SL冬の湿原号」 ご利用人員 455人/日	○

KGI (2022)	
設定項目	達成状況
沿線地域との連携 道内の観光活性化	○

4Q
検証結果

- 使用する客車のリニューアルや車内販売商品を沿線市町村の特産品に入れ替えることにより商品力の向上を図るとともに、海外旅行会社、当社のSNS等を通じて商品の魅力の情報発信など需要喚起に取り組み、KPI目標を達成しました。

KGI
検証結果

- 車内での特産品の販売や地域の皆様のご協力をいただいたお見送り等を実施し、沿線地域と連携した観光活性化に取り組みました。

2. '22年度第4四半期における実績等

(2) '22年度年間実績／第4四半期における実績等

③withコロナ・収入挽回

KPI (4Q)		
設定項目	実績	達成状況
冬の富良野・美瑛キャンペーンによる分散型旅行の促進	実施済み	○

4Q検証結果

○「ふらの・びえいフリーきっぷ」の利用特典として美瑛町観光協会からのオリジナルピンバッジのプレゼント企画や、JR利用者への富良野バス割引きっぷの発売などの利用促進の取組を行い、閑散期における富良野・美瑛観光の需要の掘り起こしを行いました。

KGI (2022)	
設定項目	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> withコロナの時代にあった新しい鉄道利用スタイルの提案 国や道の支援を活用した利用促進・収入挽回 	○

KGI検証結果

○261系5000台のフリースペースを活用したテレワーク実証実験や、分散型旅行の促進など、withコロナの時代にあった新しい鉄道利用スタイルの提案を行いました。
○全国旅行支援や道の支援を活用した「HOKKAIDO LOVE!6日間周遊パス」の設定による収入挽回に取り組みました。

2. '22年度第4四半期における実績等

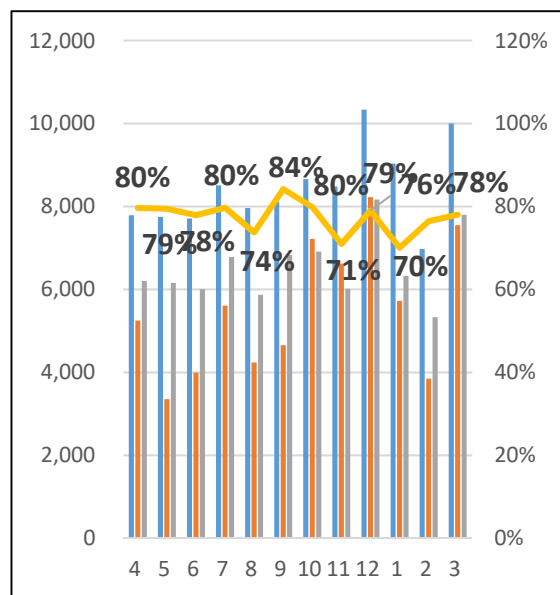
(2) '22年度年間実績／第4四半期における実績等

④ 開発・関連事業

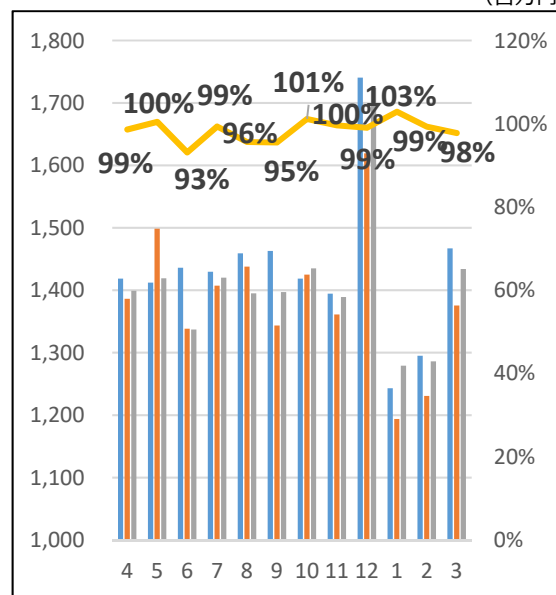
KPI (4Q)			
設定項目	実績	達成状況	
ジイ・アル生鮮市場売上 (平常時に対し101%)	45億円	39億円 (対KPI 87%)	×
JRタワーテナント売上 (平常時に対し8.5割程度)	160億円	195億円 (対KPI 122%)	○
JRタワーホテル日航札幌売上 (平常時に対し5割程度)	5億円	8.2億円 (対KPI 164%)	○

KGI (2022)			
設定項目	実績	達成状況	
小売業	セグメント売上高 228億円	227億円	×
不動産業	セグメント売上高 197億円	210億円	○
ホテル業	セグメント売上高 49億円	74億円	○

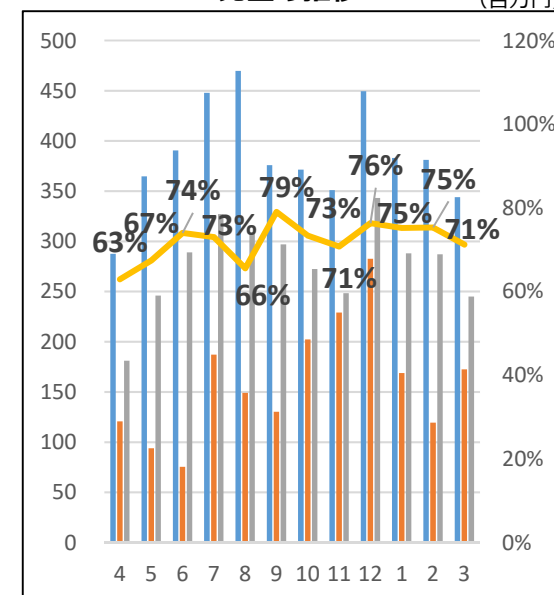
ジイ・アル生鮮市場売上の推移 (百万円)



JRタワーテナント売上の推移 (百万円)



JRタワーホテル日航札幌
売上の推移 (百万円)



2019年(1~12月)

2021年度(4~3月)

2022年度(4~3月)

2022年度と2019年の比較

※JRタワーテナントの2022年度10月以降は、パセオ閉館後の数値です。

2. '22年度第4四半期における実績等

(2) '22年度年間実績／第4四半期における実績等

④開発・関連事業

4Q
検証結果

- 【ジェイ・アール生鮮市場】季節商材の増売や宅配サービス実施店舗の拡大、定番商品の価格見直し等を実施したことで客数は前年を上回って推移したものの、食品価格の値上げに伴う買い上げ点数の減少による客単価の低下や、新規出店計画の中止等もあり、対計画5億円の減収となりました。
- 【JRタワー】3年ぶりの行動制限のない初売り、さっぽろ雪まつりの開催、全国旅行支援やインバウンドを含む観光客の増加等により物販・飲食が好調に推移したことに加え、閉店したパセオからアピア・ステラプレイスに移転した新店の効果もあり、KPI目標を上回りました。
- 【JRタワーホテル日航札幌】インバウンドの入国制限解除や、「HOKKAIDO LOVE!割」参画による集客により宿泊客が増加するなど、KPI目標を上回りました。

KGI
検証結果

- 【小売業】人流の回復による通勤・通学客や観光客の増加等によるコンビニや土産店舗の回復はありましたが、生鮮市場の新規出店計画の中止等もあり、KGI目標をわずかに下回りました。
- 【不動産業】JRタワーバーゲンやパセオグランドフィナーレセール、5倍ポイントセールが好調だったことに加え、「HOKKAIDO LOVE!割」(全国旅行支援)等による観光客の増加、アピア・ステラプレイスの新店効果等もあり、KGI目標を達成しました。
- 【ホテル業】「サッポロ割」「どうみん割」「HOKKAIDO LOVE!割」の参画やインバウンドの入国制限解除等もあり、宿泊・料飲・宴会のご利用が好調に推移したことから、KGI目標を上回りました。

2. '22年度第4四半期における実績等

(2) '22年度年間実績／第4四半期における実績等

⑤事業ポートフォリオの変革の着実な推進

KPI (4Q)				KGI (2022)	
設定項目		実績	達成状況	設定項目	達成状況
札幌駅周辺再開発 (北5西1・西2地区市街地再開発事業) スケジュール	再開発事業認可受理	実施済み	○	事業ポートフォリオを中期的に変革していくための事業開発の推進	○
ホテルさっぽろ弥生(北3西12地区) 再開発スケジュール	実施設計着手	実施済み	○		
桑園社宅用地の開発検討スケジュール	新築工事着手	実施済み	○		
賃貸マンション(極楽湯さっぽろ手稲店跡地) 再開発スケジュール	賃貸マンション入居開始	実施済み	○		
オープンイノベーションの手法を活用した事業開発スケジュール	事業内容の決定	実施済み	○		

【札幌駅周辺再開発】

12月末に事業認可申請を行い、3月9日に札幌市より認可をいただきました。

【ホテルさっぽろ弥生等再開発】

3月に分譲マンションの実施設計に着手しました。

【桑園社宅用地の開発検討】

スケジュールを前倒しし、9月に新築工事に着手しました。

【賃貸マンション開発】

2月1日より賃貸マンションへの入居を開始しました。

【オープンイノベーション】

応募のあった案件について選考を行い、6件を採用としました。

4Q
検証結果

KGI
検証結果

- 「札幌駅周辺開発」「ホテルさっぽろ弥生等再開発」「桑園社宅用地の開発検討」「賃貸マンション再開発」「オープンイノベーション」について、概ね計画通り推進しました。
- 湧水による既存施設撤去工事の工期が延長になった「ホテルさっぽろ弥生等再開発」について、完了が令和5年度初となる見込みですが、工事の全体スケジュールには影響がない見込みです。

2. '22年度第4四半期における実績等

(2) '22年度年間実績／第4四半期における実績等

⑥コスト削減（資材調達等）

KPI (4Q)			
設定項目		実績	達成状況
コスト削減追加額	0.8億円	1.3億円 (対KPI +0.5億円)	○
コスト削減追加額	0.1億円	0.1億円 (対KPI ±0億円)	○

KGI (2022)			
	設定項目	実績	達成状況
JR北海道	コスト削減額17億円 (対中期計画前)	21億円	○
グループ会社	コスト削減額6.1億円 (対中期計画前)	6.3億円	○

(JR北海道)

○車両清掃の周期見直し、車両機器検修の直轄施工化による委託費削減など、これまでの取り組みを継続することでKPI目標を達成しました。

(グループ会社)

○グループ会社に水平展開して実施している備用品の節約等の取り組みを継続することによりKPI目標を達成しました。

4Q
検証結果

(JR北海道)

○年間を通して汎用品の底値購入の徹底や各種契約の見直し等に取り組みKGIを達成しました。

(グループ会社)

○年間を通じてグループ全体で水平展開した施策の深度化に取り組み、KGIを達成しました。

KGI
検証結果

2. '22年度第4四半期における実績等

(2) '22年度年間実績／第4四半期における実績等

参考 経費節減の取り組みと節減額

(単位：億円)

	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度計画
節減額	5	14	41	50	55
(中期計画値)	(3)	(9)	(20)	(29)	(39)
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○電気契約の見直し ○資材調達方式見直し ○工事契約の一括発注方式導入 ○出張旅費の削減 ○石勝線（新夕張～夕張間）鉄道営業廃止・バス転換 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○印刷費の削減 ○底値購買・購入先統一の取り組み ○車両・駅ビル等清掃契約の見直し ○H100形電気式気動車導入効果 ○札幌線（北海道医療大学～新十津川間）鉄道営業廃止・バス転換 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ダイヤ改正による動力費削減 ○見積強化による修繕費削減 ○車両部品の直轄施工 ○光熱費の削減 ○日高線（鷓川～様似間）鉄道営業廃止・バス転換 ○電気転てつ器等の定常監視装置の導入 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ダイヤ改正による動力費削減 ○車両・駅ビル清掃契約見直し拡大 ○社宅集約による修繕費削減 ○底値購買・購入先統一のさらなる深度化 ○車両部品の直轄施工 ○次期財務システムの構築 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ダイヤ改正による動力費削減 ○2両ワンマン電車の新製 <p style="text-align: right;">等</p>

2. '22年度第4四半期における実績等

(2) '22年度年間実績／第4四半期における実績等

⑦ 鉄道オペレーションの变革

KPI (4Q)		
設定項目	実績	達成状況
2両ワンマン電車の導入 (10両)	10両導入	○
「話せる券売機」の導入 (12台)	12台導入	○
電気設備状態監視システムの導入拡大	3駅3区間に導入	○
2022年度の取り組みを踏まえた組織、業務の見直しの実施 (160名規模)	140人規模	×

KGI (2022)		
設定項目	実績	達成状況
要員効果 160人規模	140人規模	×

4
Q
検
証
結
果

- 2両ワンマン電車の導入(10両)は計画通り実施しました。
- 「話せる券売機」の導入(12台)は計画通り実施しました。
- 電気設備状態監視システムは、計画より1駅多い3駅3区間に導入を拡大しました。

検
証
結
果
K
G
I

- 五稜郭車両所の閉所、計画部門も含めた業務体制見直し等を実施しましたが、要員効果は140人規模となりました。なお、令和4年度に実施できてきなかった20人規模の業務見直しについては令和5年度に実施を予定しております。

⑧ 鉄道輸送の品質向上

KPI (4Q)		
設定項目	実績	達成状況
HPリニューアル・試験運用開始	実施済み	○
島松駅バリアフリー化完了	実施済み	○
東室蘭駅・琴似駅旅客トイレ洋式化完了	実施済み	○

KGI (2022)	
設定項目	達成状況
鉄道輸送の品質向上 (今年度は雪害対策、快速エアポートの品質向上、異常時運行情報の品質向上を目標として取り組む)	○

4
Q
検
証
結
果

- HPリニューアル・試験運用については、3月までに運休列車を各駅の時刻表で表示できるようにするなど試験運用を開始し、4月から本稼働しました。
- 島松駅バリアフリー化については、R5年1月に完了し使用開始しました。
- 東室蘭駅・琴似駅旅客トイレ洋式化について、東室蘭駅は1月、琴似駅は2月に使用開始しました。

K
G
I
検
証
結
果

- 除雪体制の構築、除雪機械・融雪設備の増強などの雪害対策に取り組みました。
- エアポートの品質向上については、「えきねっとチケットレス座席指定券」を導入しました。
- 異常時の運行情報の品質向上については、「多言語放送案内アプリ」のリプレイスやHPのリニューアルを行いました。
- そのほかバリアフリー化等を進めるなど、鉄道の品質向上を図りました。

2. '22年度第4四半期における実績等

(2) '22年度年間実績／第4四半期における実績等

⑨資金の確保

KPI (4Q)			
設定項目		実績	達成状況
期末残高	100億円以上	299億円	○

4Q
検証結果

○2020年度に増額した当座貸越枠の活用などにより資金を確保しました。

KGI (2022)		
設定項目	実績	達成状況
新幹線高速化などの資金確保 (各期ごとのKPI設定はなし)	—	○
期末残高100億円の確保	299億円	○

KGI
検証結果

○新幹線高速化などの資金確保については、国の利子補給支援を活用し確保しました。
○2020年度に増額した当座貸越枠の活用などにより、各四半期の期末残高100億円を確保しました。